

On Demand Seminar

勝つための方程式

ドル円、ポンド円の短期展望

2010年3月15日

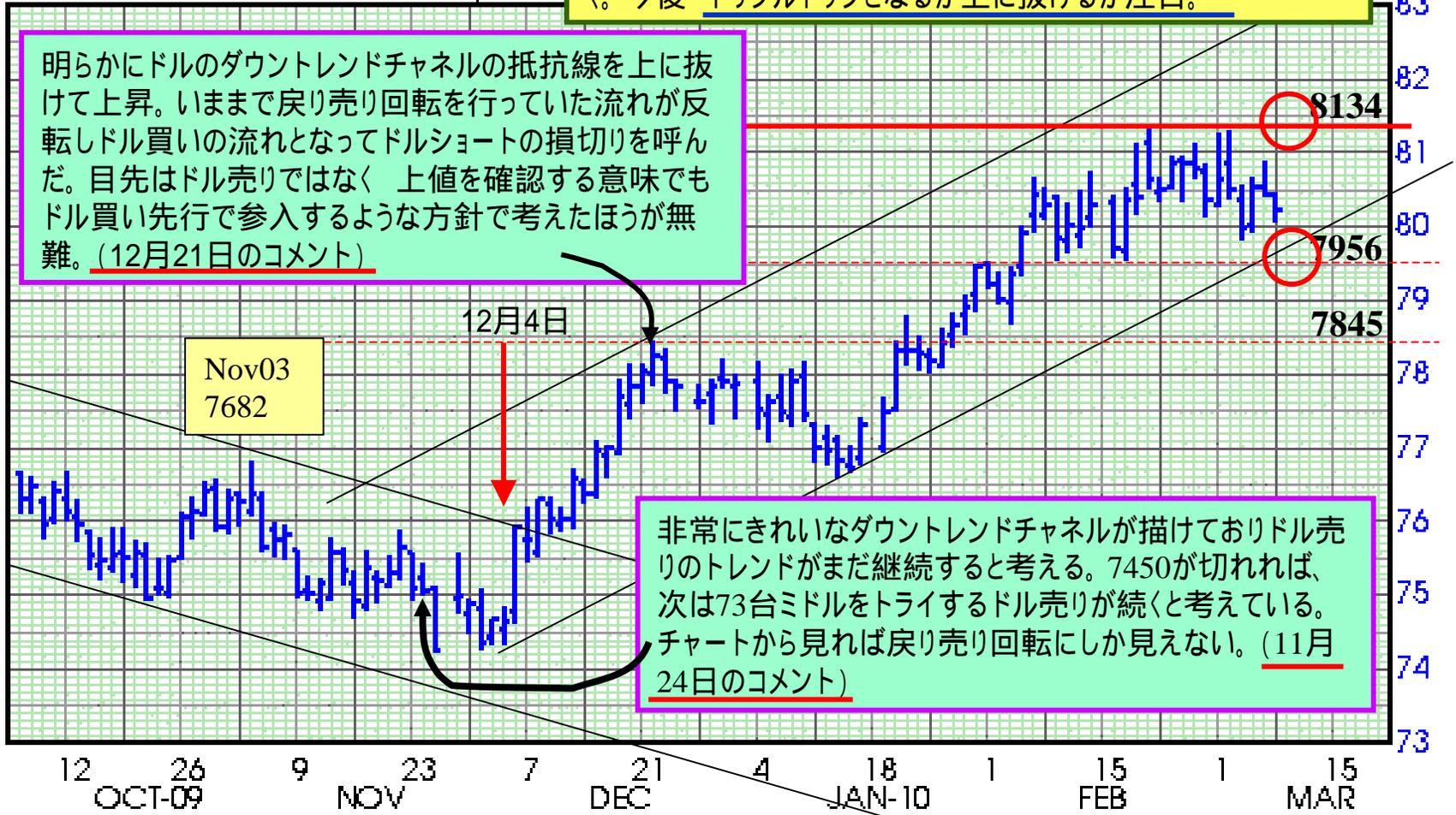
講師 小林芳彦

ダウトレンドチャネルの上限を抜いてから戻り売り回転が押し目買い回転に切り替っている。その後は上昇のトレンドチャネルが形成され81.40が上に抜けたら更にドル買いのトレンドが続く。今後 トリプルトップとなるか上に抜けるか注目。

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. daily OHLC

明らかにドルのダウトレンドチャネルの抵抗線を上に抜けて上昇。いままで戻り売り回転を行っていた流れが反転しドル買いの流れとなってドルショート損切りを呼んだ。目先はドル売りではなく 上値を確認する意味でもドル買い先行で参入するような方針で考えたほうが無難。(12月21日のコメント)

非常にきれいなダウトレンドチャネルが描けておりドル売りのトレンドがまだ継続すると考える。7450が切れれば、次は73台ミドルをトライするドル売りが続くと考えている。チャートから見れば戻り売り回転にしか見えない。(11月24日のコメント)



As of 03/08/10

Date = 03/15/10 o/h/l/c = 79766 79989 79766 79937 +0.104

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. daily OHLC plot

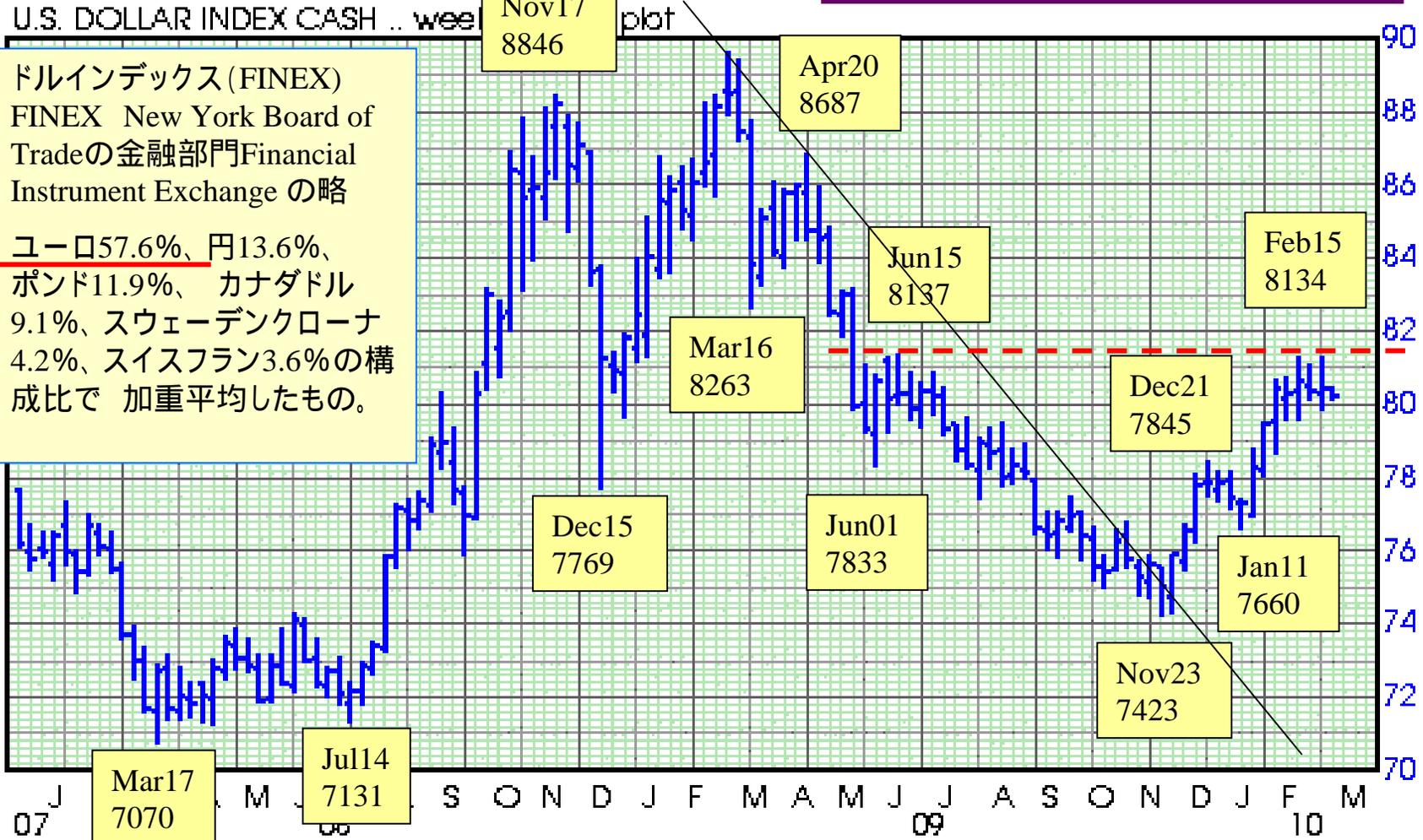


ダブルトップの形で反落してきて、上昇チャネルの下限近辺で現状は引っかかっている。これがクリアに割れれば78.45を目指すような展開になるか？この場合にはユーロドルの買いで反応しそう。このチャートからはドルの上値が重たそうに見える。

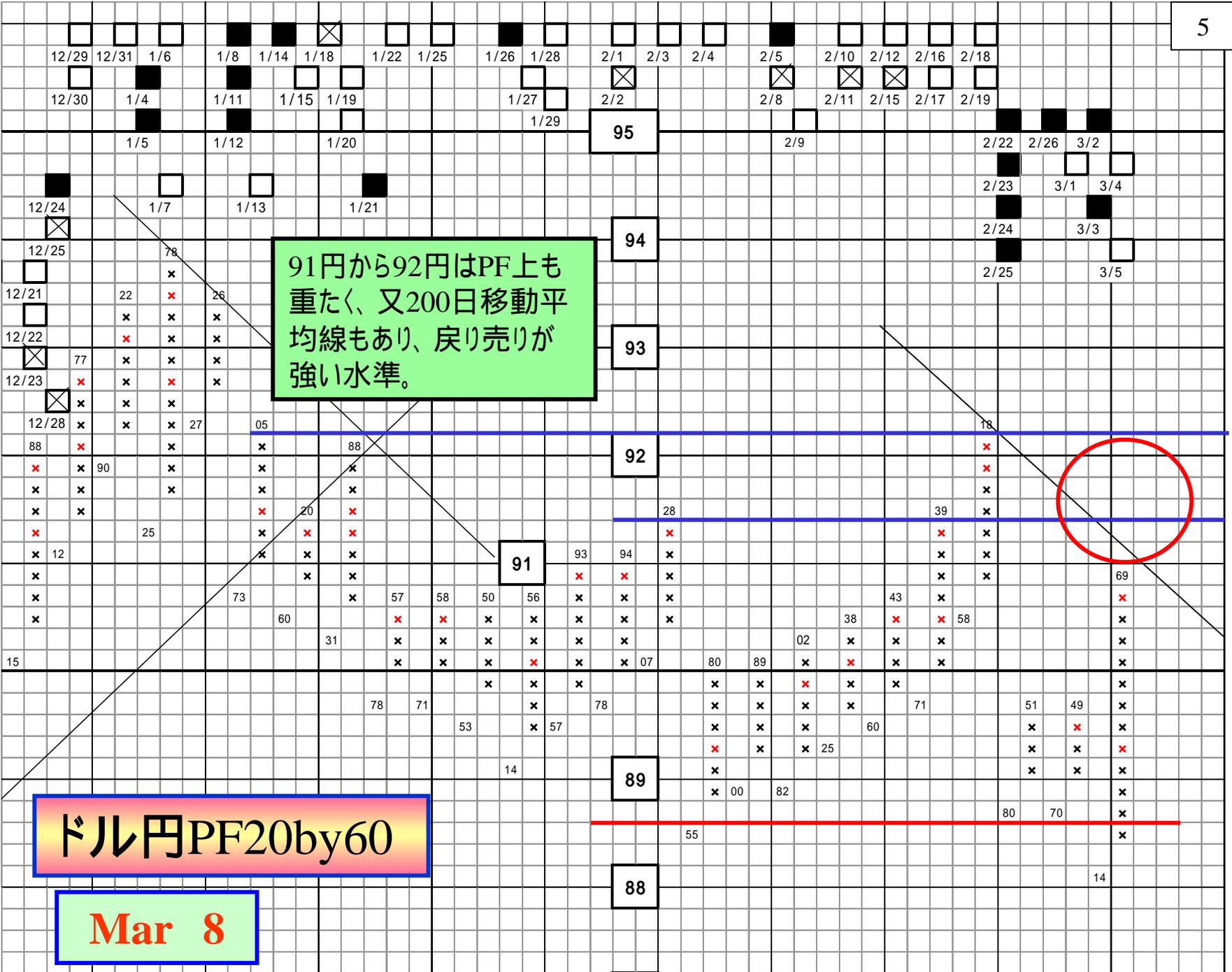
As of 03/15/10

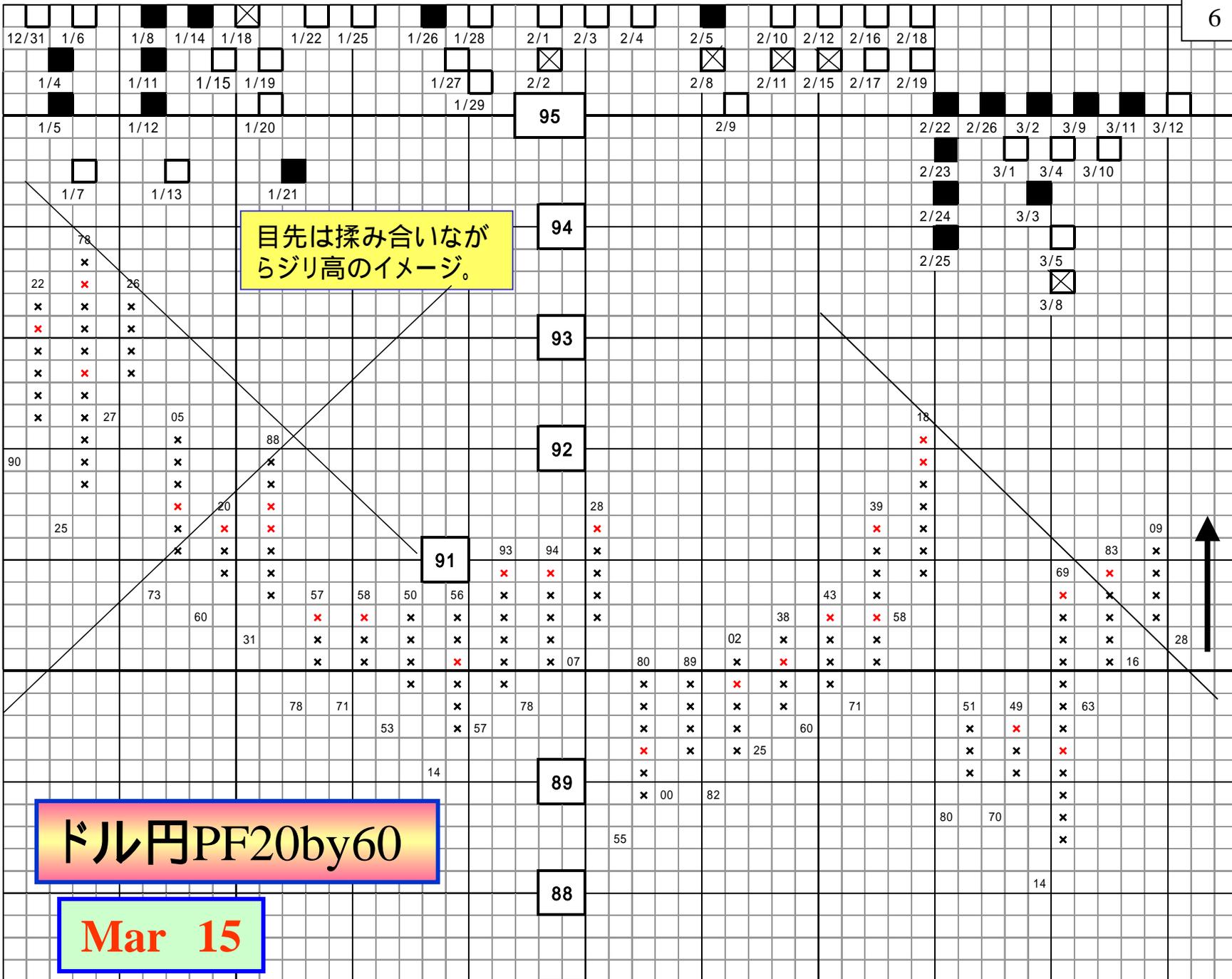
@ Barchart.com

8140が上に抜ければ83~84まで戻る流れとなる可能性が出てくる。越せないようなら79-81.40で揉み合い継続。



ドルインデックス(FINEX)
 FINEX New York Board of Tradeの金融部門Financial Instrument Exchange の略
 ユーロ57.6%、円13.6%、ポンド11.9%、カナダドル9.1%、スウェーデンクローナ4.2%、スイスフラン3.6%の構成比で 加重平均したもの。





目先は揉み合いながらジリ高のイメージ。

ドル円PF20by60

Mar 15

(Dec22)

ドル円 日足 チャート



(Mar11)

ローソク(BID)

ドル円 日足 チャート

2009/03/12 始値:97.22 高値:98.52 安値:95.66 終値:97.74

日付表示: 基準値[26]94.44 転換[9]97.66 先行1[26]90.56 先行2[52]92.26 遅行[26]99.30

2009/05 2009/06 2009/07 2009/08 2009/09 2009/10 2009/11 2009/12 2010/01 2010/02 2010/03

Apr06
101.45

May07
99.80

Jun05
98.90

Aug07
97.79

101.45から始まったドルのダウントレンドチャンネルの中で目先は92円手前が非常に重たくなっていると考え、88.01~91.73のレンジの中で市場ポジションがショートになりがちであり、目先は下がりにくい展開をイメージします。

Apr28
95.63

Mar19
93.55

May22
93.85

Jul13
91.73

Sep21
92.55

Oct27
92.33

Dec04
90.78

Jan08
93.78

Feb19
92.16

Oct07
88.01

Dec09
87.36

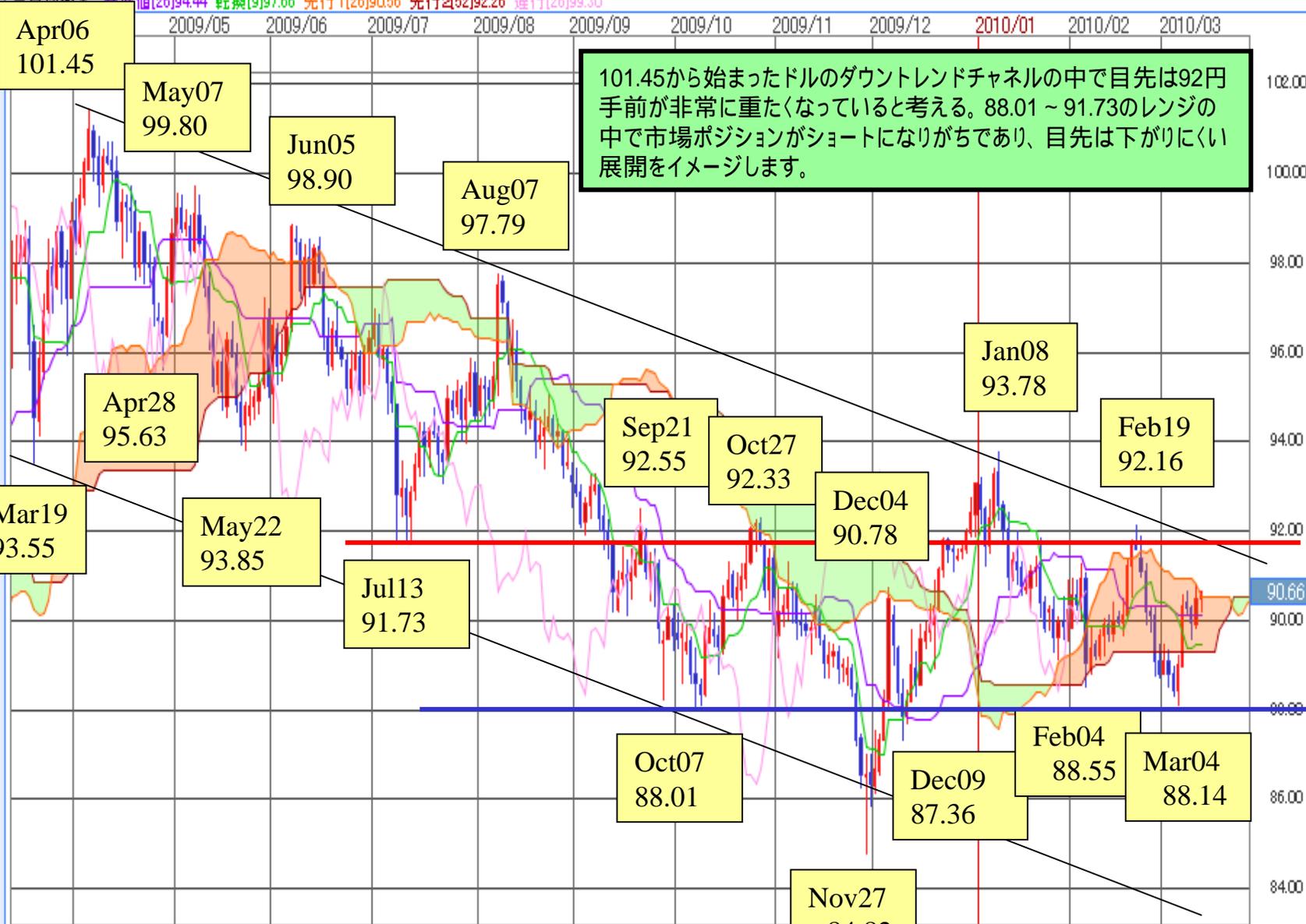
Feb04
88.55

Mar04
88.14

Nov27
84.82

始値:90.51 高値:90.71 安値:90.20 終値:90.70

270

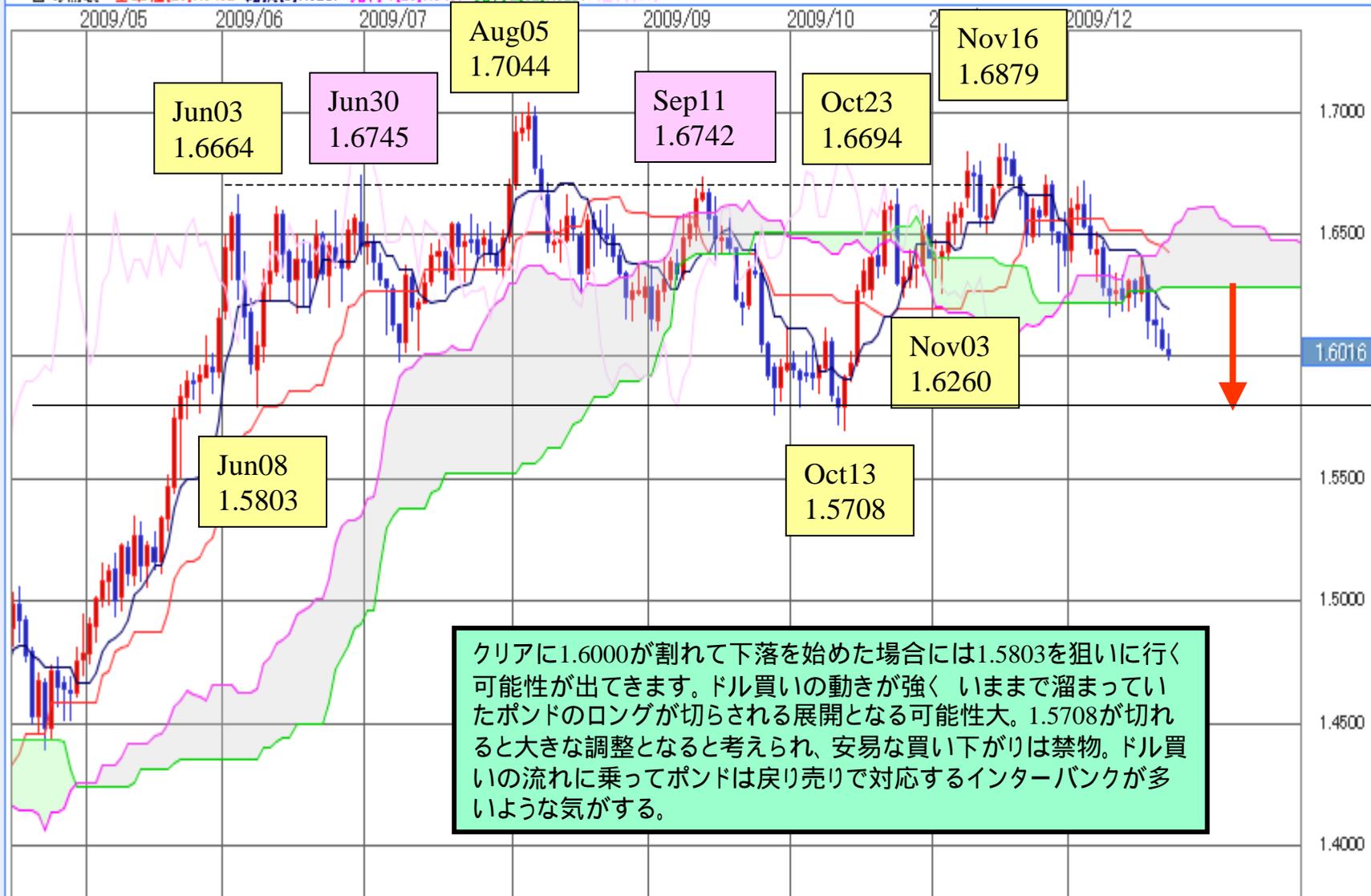


(Dec22)

ポンドドル 日足 チャート

2009/12/22 始値:1.6032 高値:1.6098 安値:1.5992 終値:1.6016

一目均衡表: 基準値[26]1.6432 転換[9]1.6201 先行[26]1.6481 先行[52]1.6291 遅行[26]---



クリアに1.6000が割れて下落を始めた場合には1.5803を狙いに行く可能性が出てきます。ドル買いの動きが強く いままで溜まっていたポンドのロングが切られる展開となる可能性大。1.5708が切れると大きな調整となると考えられ、安易な買い下がり禁物。ドル買いの流れに乗ってポンドは戻り売りで対応するインターバンクが多いような気がする。

始値:1.6032 高値:1.6098 安値:1.5992 終値:1.6015

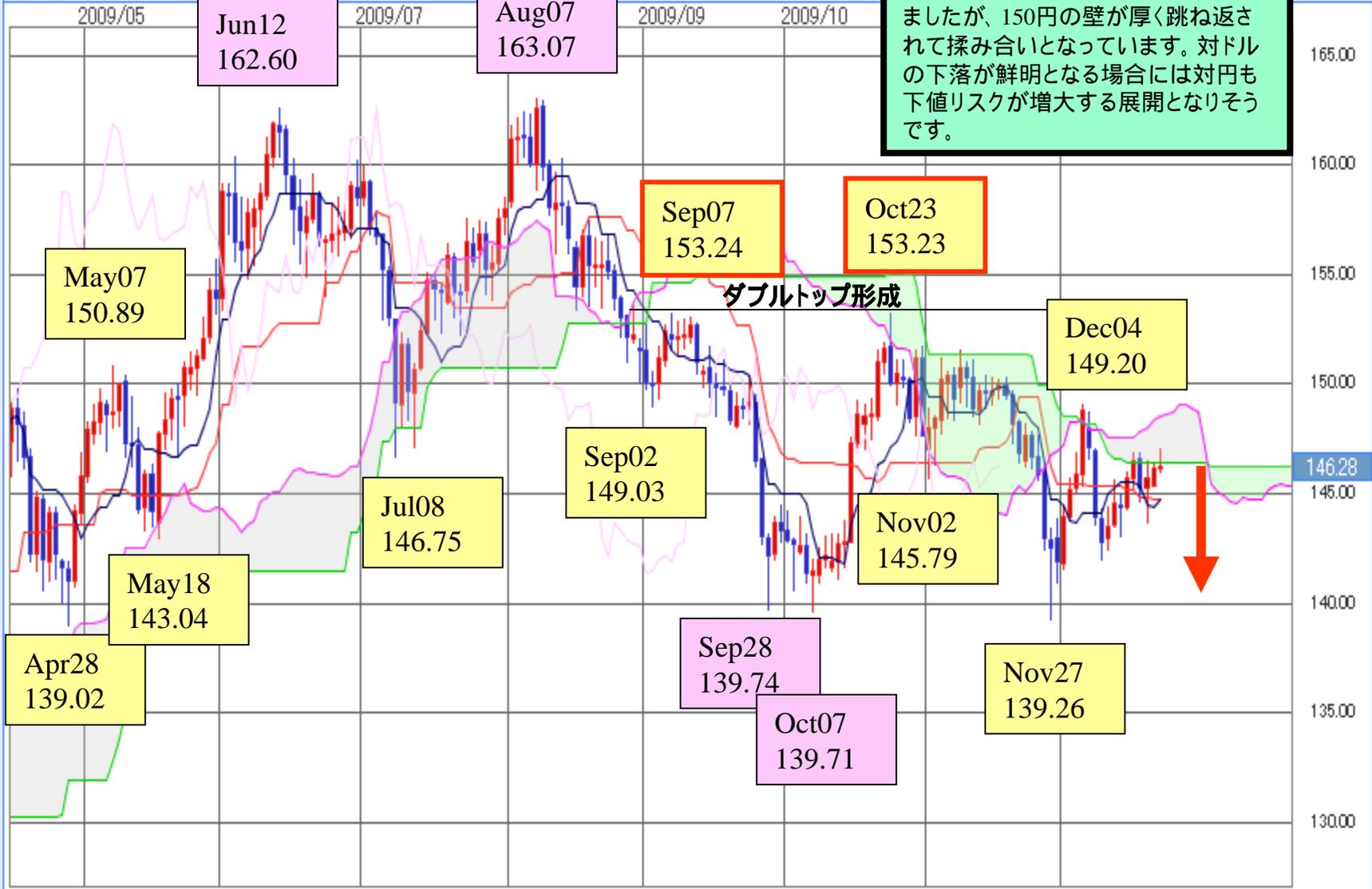
(Dec22)

ポンド円 日足 チャート

GBP/JPY 日足 日足(BID) 検索

2009/12/22 始値:146.17 高値:147.05 安値:146.01 終値:146.28
- 目均術表: 基準値[26] 44.80 転換[9] 44.76 先行1[26] 48.56

日足の雲下限が切れて急落。安値は11月27日の139.26までタッチ。その後急激なショートカバーで約10円上昇しましたが、150円の壁が厚く跳ね返されて揉み合いとなっています。対ドルの下落が鮮明となる場合には対円も下値リスクが増大する展開となりそうです。



始値:146.17 高値:147.05 安値:146.01 終値:146.28 200



USD/JPY 60分足 ローソク(BID)

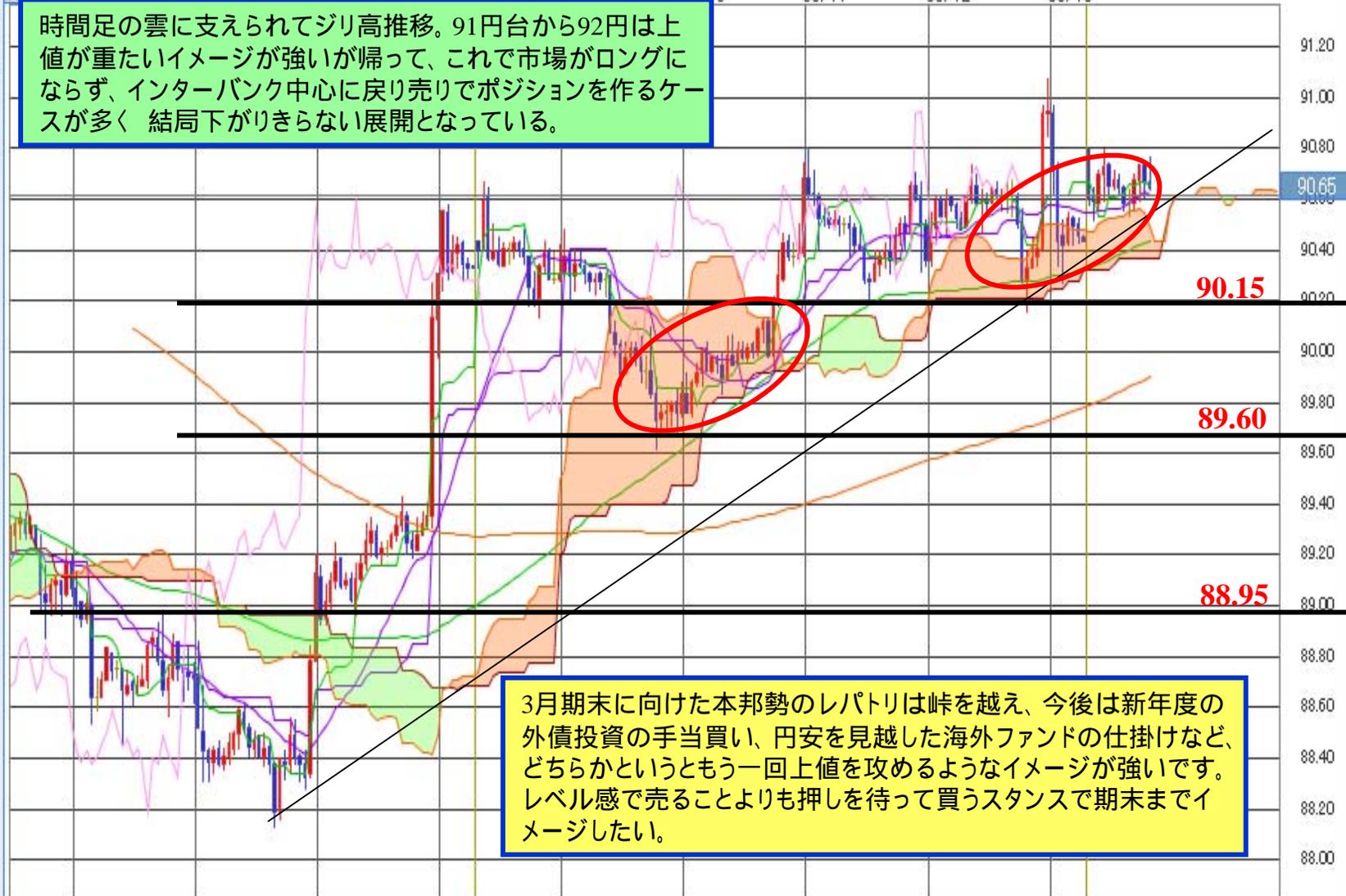
2010/03/02 11:00 始値:89.24 高値:89.32 安値:89.22 終値:89.28

単純移動平均: 短期[21]89.21 中期[90]89.35 長期[200]

一目均衡表: 基準値[26]89.18 転換[9]89.16 先行1[26]89.02 先行2[52]89.52 遅行[26]88.69

2010/03/02 11:00 03/04 03/05 03/06 03/09 03/10 03/11 03/12 03/13

時間足の雲に支えられてジリ高推移。91円台から92円は上値が重たいイメージが強いが帰って、これで市場がロングにならず、インターバンク中心に戻り売りでポジションを作るケースが多く 結局下がりきらない展開となっている。



3月期末に向けた本邦勢のレパトリは峠を越え、今後は新年度の外債投資の手当買い、円安を見越した海外ファンドの仕掛けなど、どちらかというともう一回上値を攻めるようなイメージが強いです。レベル感で売ることよりも押しを待って買うスタンスで期末までイメージしたい。

始値:90.80 高値:90.81 安値:90.52 終値:90.66

250

(Mar15)

ポンド円 時間足チャート

14

GBP/JPY

60分足

ローソク(BID)

検索

2010/03/11 02:00 始値:135.71 高値:135.71 安値:134.99 終値:135.46

単純移動平均: 短期[21]134.91 中期[90]135.44 長期[200]134.54

一目均衡表: 基準値[26] 転換[9] 先行1[26] 先行2[52] 遅行[26]-136.23

中期的には方向的としては揉み合いながら下値を切り上げる展開が続くと予想。136.00以下、135.50レベルも買いのスタンスで臨み134.00が切れたらストップ。

日足で説明したように目先は上値トライする可能性もあるが143円近辺に横たわる日足の一目均衡表雲の手前で上昇がストップする可能性が高いのではないかと。買い先行で参入して138.25から上、140円にかけて利食い場探しと考えたい。

始値:137.79 高値:137.94 安値:136.49 終値:136.53

250

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)により、大きな利益を得る場合がありますが、元本(預託金)を上回る損失発生の可能性があり、元本や利益を保証するものではありません。

特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。また、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)についても通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、プラスの場合もあれば、マイナスの場合もあります。

当社では、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断によりお取引ください。

商号:ヒロセ通商株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:近畿財務局長(金商)第41号

加入協会:金融先物取引業協会 会員番号1562